

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-050047
(43)Date of publication of application : 19.02.1992

(51)Int.Cl. B60R 7/04

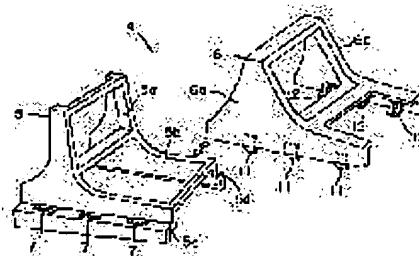
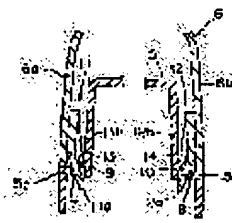
(21)Application number : 02-157465 (71)Applicant : NISSAN MOTOR CO LTD
(22)Date of filing : 18.06.1990 (72)Inventor : KAWASAKI TOMOAKI

(54) INSTRUMENT COMPONENT STRUCTURE

(57)Abstract:

PURPOSE: To position and fix a cover body to a box main body simply and quickly by inserting the right and left hooking claws of the cover body into the right and left positioning holes of the box main body against their own elastic force, and coupling the notches of the hooking claws with the hooking projections of the box main body.

CONSTITUTION: An instrument component 4 is constituted of a box main body 5 and a cover body 6 covering the box main body 5, and the box main body 5 has an audio rack section 5a and a center console box section 5b. Step sections 5c, 5d are provided on both the right and left sides of the box main body 5, and multiple positioning holes 7, 8 are formed on the step sections 5c, 5d. Hooking projections 9, 10 are formed at the upper section on the sides near the positioning holes 7, 8. Hooking claws 11, 12 are integrally provided at the lower end section on the opposite faces of both the right and left side walls 6a, 6b of the cover body 6, the hooking claws 11, 12 are inserted into the positioning holes 7, 8 against their own elastic force, thus the cover body 6 is positioned and fixed to the box main body 5.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

BEST AVAILABLE COPY

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑫ 公開特許公報(A) 平4-50047

⑤Int. Cl.⁵
B 60 R 7/04識別記号 庁内整理番号
Z 7149-3D

⑬公開 平成4年(1992)2月19日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭発明の名称 インストルメント部品構造

⑯特 願 平2-157465

⑰出 願 平2(1990)6月18日

⑱発 明 者 川 崎 智 朗 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社
内

⑲出 願 人 日産自動車株式会社 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

⑳代 理 人 弁理士 西脇 民雄

明 細 書

1. 発明の名称

インストルメント部品構造

2. 特許請求の範囲

(1) ボックス本体の左右両側部に位置決孔がそれぞれ形成され、前記位置決孔の互いに近接する側の上部に係止突部がそれぞれ設けられていると共に、前記ボックス本体を覆うカバー体の両側部に下端に向うに従って互いに接近する方向に延びる係止爪がそれぞれ設けられ、該係止爪に前記係止突部に係合させるノッチが形成され、且つ、前記左右の係止爪の先端部の間隔は前記左右の位置決孔の間隔よりも僅かに小さく設定されていることを特徴とするインストルメント部品構造。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、例えば、自動車のインストルメントパネルに沿わせるオーディオラック部と車体フロアのトンネル部上に取り付けられるセンターコンソールボックス部が一体に設けられたインスト

ルメント部品構造に関するものである。

(従来の技術)

従来、この種のインストルメント部品としては、例えば特開昭58-194641号公報に開示されたようなものがある。

この公報に開示されたインストルメント部品では、オーディオラック部とセンターコンソールボックス部とが一体に設けられたインストルメント部品を、ボルト等により車体フロア中央のトンネル部上に固定するようにしている。

このようなインストルメント部品は、オーディオ機器等の電子製品のオーディオラック部への組み込み容易性や外観上の見栄えを考慮して、造形上ボックス本体とカバー体の2つの部品から構成する様にしているものがある。

そして、インストルメント部品の車体フロアへの組み込みは、まずボックス本体を車体フロアのトンネル部上に取り付けた後、ボックス本体のオーディオラック部にオーディオ機器等の電子製品を組み込み、最後にカバー体でボックス本体を

カバーするようにしている。

(発明が解決しようとする課題)

ところで、ボックス本体へのカバー体の固定は、従来は多数箇所をボルトやクリップ等の固定手段を用いて固定している。

しかし、このような固定手段を用いた場合には、固定作業に手数を要するという問題があった。

上述したインストルメント部品は、比較的に大型のものであるため、カバー体をボックス本体にボルトやクリップ等の固定手段で固定する際に、カバー体とボックス本体の位置決めが容易でないという問題があった。

そこで、この発明は、カバー体のボックス本体への位置決及び固定を簡易且つ迅速に行い得るインストルメント部品構造を提供することを目的とするものである。

(課題を解決するための手段)

この目的を達成するため、この発明は、ボックス本体の左右両側部に位置決孔がそれぞれ形成され、前記位置決孔の互いに近接する側の上部に係

方向中央に設けられたトンネル部、4はトンネル部3の前部上に取り付けられたインストルメント部品である。

このインストルメント部品4は、第1図、第2図、第3図に示したように、ボックス本体5と、ボックス本体5をカバーするカバー体6から構成されている。

ボックス本体5は、オーディオラック部5aとセンターコンソールボックス部5bを有する。しかも、ボックス本体5の左右両側には段部5c、5dが設けられている。この段部5cには複数の位置決孔7が形成され、段部5dには各位置決孔7に対応して複数の位置決孔8が形成されている(第1図、第2図、第5図参照)。また、位置決孔7、8の互いに近接する側の上部には係止突部9、10(第1図、第3図、第4図参照)が形成されている。

一方、カバー体6の左右両側壁6a、6bの互に対向する面の下端部には、係止爪11、12がそれぞれ一体に設けられている。

この係止爪11は、くの字状の爪本体11aと、爪

止突部がそれぞれ設けられていると共に、前記ボックス本体を覆うカバー体の両側部に下端に向うに従って互いに接近する方向に延びる係止爪がそれぞれ設けられ、該係止爪に前記係止突部に係合させるノッチが形成され、且つ、前記左右の係止爪の先端部の間隔は前記左右の位置決孔の間隔よりも僅かに小さく設定されているインストルメント部品構造としたことを特徴とするものである。

(作 用)

このような構成によれば、カバー体の左右の係止爪を自己の弾性力に抗してボックス本体の左右の位置決孔に挿入することにより、係止爪のノッチがボックス本体の係止突部に係合して、カバー体がボックス本体に位置決めされた状態で固定されることになる。

(実 施 例)

以下、この発明の実施例を図面に基づいて説明する。

第7図において、1は自動車のインストルメントパネル、2は車体フロア、3は車体フロア2の車幅

本体11aに上下に向けて形成したリブ11bから構成されている。同様に係止爪12は、くの字状の爪本体12aと、爪本体12aに上下に向けて形成したリブ12bから構成されている。尚、各リブ11b、12bの平面形状は、第6図に示したように一側に面取り部11c、12cを設けた構成とすることもできる。各係止爪11、12は下端に向うに従って互いに接近する方向に延設されている。しかも、リブ11b、12bの下部側にはノッチ13、14がそれぞれ形成されている。

また、左右の係止爪11、12の先端部の間隔L1は前記左右の位置決孔8、9の上端間隔すなわち係止突部9、10の間隔L2よりも僅かに小さく設定されている。

次に、このような構成のインストルメント部品4の車体フロア2への組み込みについて説明する。

このインストルメント部品4の車体フロア2への組み込みは、まずボックス本体5を車体フロア2のトンネル部3上に取り付けた後、ボックス本体5のオーディオラック部5aにオーディオ機器等の電子

製品15(第7図参照)を組み込む。

そして、最後にカバー体6の左右の係止爪11, 12を自己の弾性力に抗してボックス本体5の左右の位置決孔8, 9に挿入することにより、係止爪11, 12のノッチ13, 14がボックス本体5の係止突部9, 10に係合して、カバー体6がボックス本体5に位置決めされた状態で固定されることになる。

(発明の効果)

以上のように、本発明によれば、ボックス本体の位置決孔にカバー体の係止爪を挿入係合するだけでカバー体の組付を簡易かつ迅速に行え、しかも、カバー体面側の係止爪は下端に向うに従って互いに接近し、かつ、先端部間の間隔を位置決孔の間隔よりも小さくしてあるため、バネ作用を発揮できて確実な固定を行うことができる。更に、係止爪のノッチと位置決孔の係止突部との係合により、上下方向の位置決めも行われるため、カバー体を整合性良く装着することができる利点を有する。

4. 図面の簡単な説明

4. 図面の簡単な説明

第1図は、この発明に係るインストルメント部品構造の要部組み立て断面図である。

第2図は、第1図に示したインストルメント部品構造の分解斜視図である。

第3図は、第2図の要部説明図である。

第4図は、第2図の係止爪の部分の斜視図である。

第5図は、第1図、第2図、第3図の位置決孔の部分の斜視図である。

第6図は、第1図、第2図、第3図に示した係止爪の概略平面形状の他の例を示す説明図である。

第7図は、第1図ないし第5図に示したインストルメント部品を備える自動車の部分斜視図である。

5…ボックス本体

6…カバー体

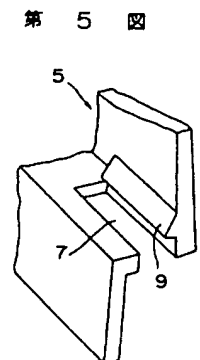
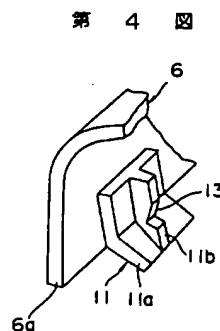
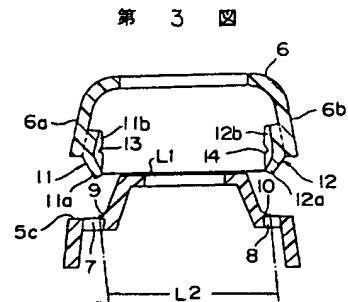
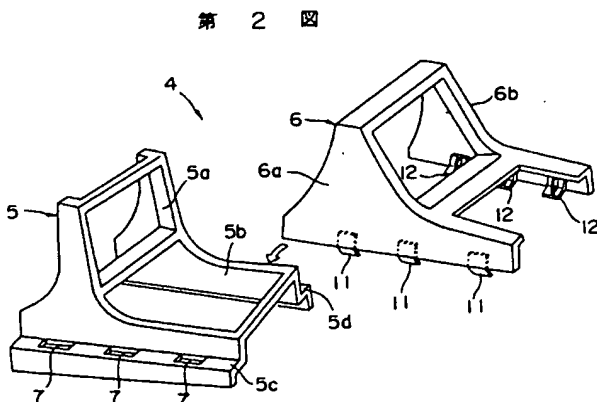
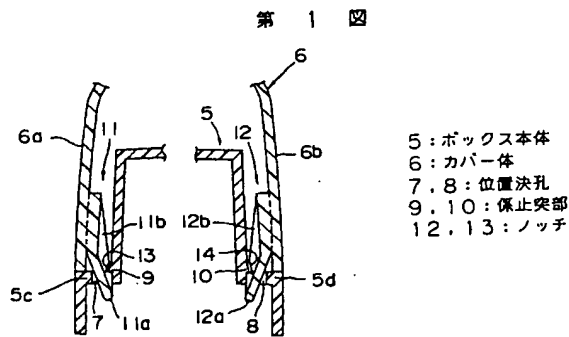
8, 9…位置決孔

9, 10…係止突部

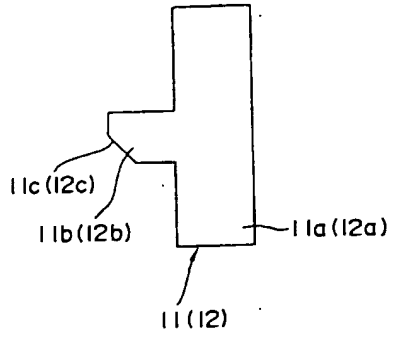
12, 13…ノッチ

出願人 日産自動車株式会社

代理人 弁理士 西脇民雄



第 6 図



第 7 図

